

動画はこちらから→



←動画はこちらから



大区画化工事が実施された美田（三光堰西地区）

かなうち まさき
叶内 昌樹 議員

既存建物の再活用の考え方

交流施設として活用検討中



交流拠点の活用に期待します（旧富長小学校）

質問 少子高齢化に伴う空き家増加に対し、雪国である舟形町での早急な対応が求められます。特に高齢者の一人暮らし増加に鑑み、除雪負担の少ない住環境の整備が必要ではないか。

そういう事もふまえ既存施設である旧小学校の活用について伺います。文部科学省の調査でも廃

校の約8割が活用されています。そこで、旧富長校舎の今後の活用方針を伺います。

さらに、活用が進んでいない旧長沢校舎の未活用スペースについて、大規模改修や用途変更が必要となるが、地方移住や二拠点生活者を呼び込む移住促進策の一環として、一人暮らし向けの居住用

施設への転用はできないのか、町長に伺います。

町長 両施設とも、建築基準法上「学校」に分類されており、アパート形式の「集合住宅」やホテル形式の「宿泊施設」など、居住用への用途変更を行うには、大規模な改修が必要となります。

富長交流センターにつ

いては、現在、東京都港区との交流施設として港区麻布地区総合支所に提

案し、アイディアや意見を求めている段階です。

舟形町と港区との交流は令和5年度に50周年を迎える、物産展への出店、

中学校の修学旅行でのPR活動、港区麻布地区的親子による自然体験活動「麻布地区サマースクールーIN 舟形」など、交流はとても強固になつています。

今後の交流のあり方にについて港区の動向を注視しながら、必要な検討を進めしていく考えです。

長沢交流センターにつ

いては、現在、リンゴ口

ー株式会社に1階から3

階までを無償貸与してお

り、その活用は同社に委ねています。

令和5年4月からは縫

製会社が2階に入居し操

業を開始するなど、企業による活用が進んでいま

す。今後もこの現行の活

用形態を継続していく方

針です。

交流拠点の活用に期待します（旧富長小学校）

今年度は入居の問い合わせが無いことや、人口・世帯数の減少、空き家の増加等から、新たな整備や大規模改修を積極的に進める状況ではなくなっています。新規入居は停止し、各棟の空き状況を勘案します。

ながら、住環境の良い棟

にまとまっていただき、

空になった棟から用途廢止、解体を行い、新たな公営住宅整備は行わないことを基本とし、建物の修繕や入居者の実情に応じた対応を検討していく

ます。



施設のさらなる活用に期待します（旧長沢小学校）

今年度は入居の問い合わせが無いことや、人口・世帯数の減少、空き家の増加等から、新たな整備や大規模改修を積極的に進める状況ではなくなっています。新規入居は停止し、各棟の空き状況を勘案します。

ながら、住環境の良い棟

にまとまっていただき、

空になった棟から用途廢止、解体を行い、新たな公営住宅整備は行わないことを基本とし、建物の修繕や入居者の実情に応じた対応を検討していく

ます。

ながら、住環境の良い棟

にまとまっていただき、

空になった棟から用途廢止、解体を行い、新たな公営住宅整備は行かないことを基本とし、建物の修繕や入居者の実情に応じた対応を検討していく

</div